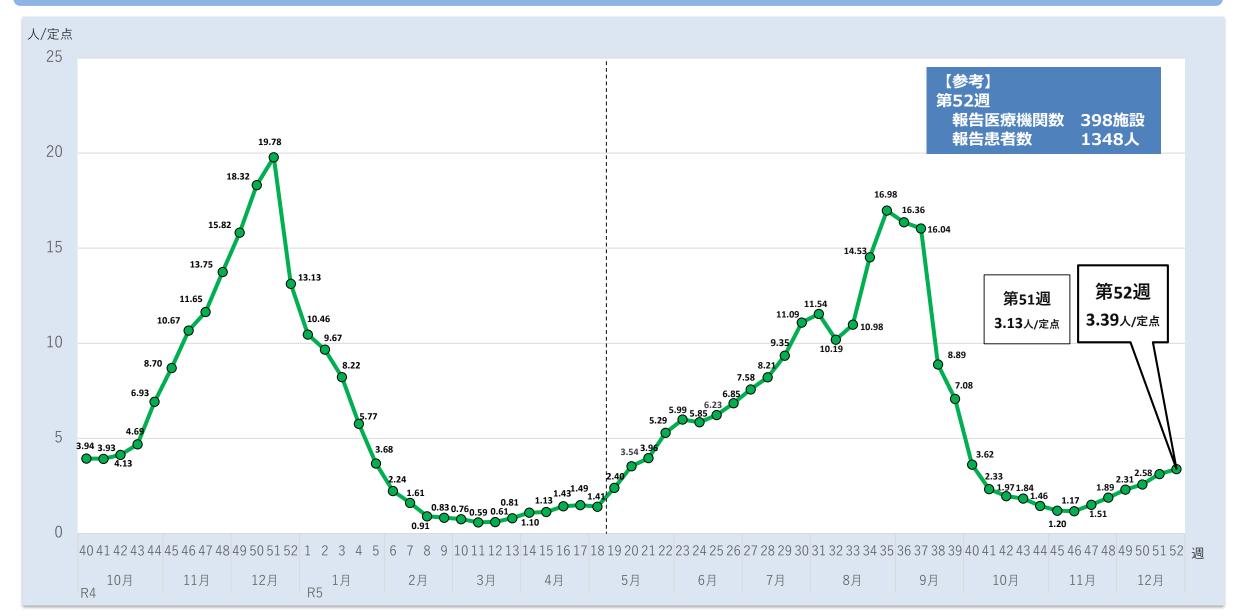
モニタリング分析【令和6年1月9日 公表】

	モニタリング項目 ※①は7日間の合計、②③は7日間移動平均で算出 ※⑤は上位3つの変異株の割合を抽出		今週 (令和6年1月9日 公表)	前週 (令和5年12月28日 公表)
感染動向	① 定点医療機関当たり患者報告数 【定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数】		3.39/定点 (第52週(12/25-12/31))	3.13人/定点 (第51週 (12/18-12/24))
	② # 7119 (※1)における発熱等相談件数 【7日間移動平均】		167.3件 ^(1/3)	104.9件
医療提供体制 への負荷	③ 救急医療の東京ルールの適用件数(※2) 【7日間移動平均】		127.7件 ^(1/3)	103.9件
	④ 入院患者数 【入院患者の総数】		911人 ^(1/1)	762人 ^(12/25)
変異株監視		EG.5 (XBB.1.9.2の亜系統)	35.1% (12/11-12/17)	62.1%
	⑤ 病原体サーベイランス (ゲノム解析)【都内検体の直近のゲノム解析結果】	JN.1 (BA.2.86の亜系統)	32.4% (12/11-12/17)	17.2% (12/4-12/10)
		BA.2.86	16.2% (12/11-12/17)	10.3%
【参考】VRSデータによる都民のワクチン接種状況 令和5年秋開始接種(令和5年9月20日開始)高齢者(65歳以上)				50.6% (12/31)

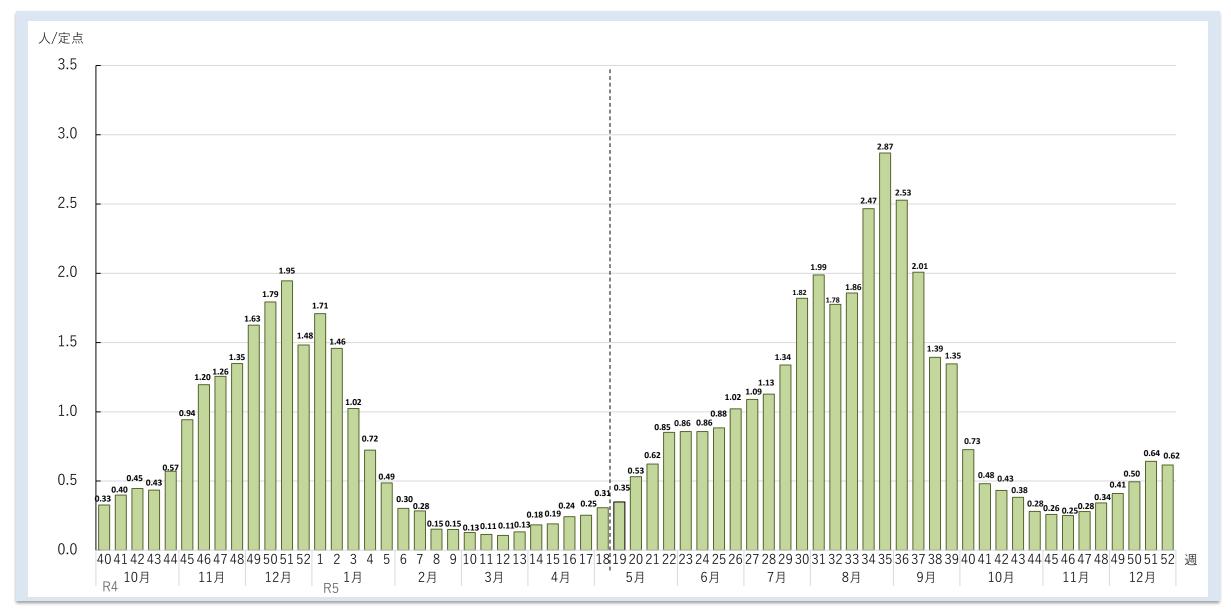
専門家による分析

- ■定点医療機関当たり患者報告数は横ばいとなった。ただし、年末年始による定点医療機関の診療日数減少の影響を受けた値であるため、評価には注意が必要である。今後は、変異株の影響による感染拡大スピードの増加が懸念される。
- ■発熱等相談件数及び東京ルール の適用件数は年末年始の影響もあ り増加した。
- ■入院患者数は増加しているが、 現時点では医療提供体制への大き な負荷は見られない。
- ■場面に応じたマスク着用、手洗い、換気などの基本的な感染防止対策とともに、体調が悪いときは外出を控えることを引き続き周知する必要がある。
- ■高齢者や基礎疾患を有する方は、 重症化を防ぐためにも、早めのワ クチン接種が望ましい。3月末ま では、生後6か月以上の全ての方 が無料で接種可能である。

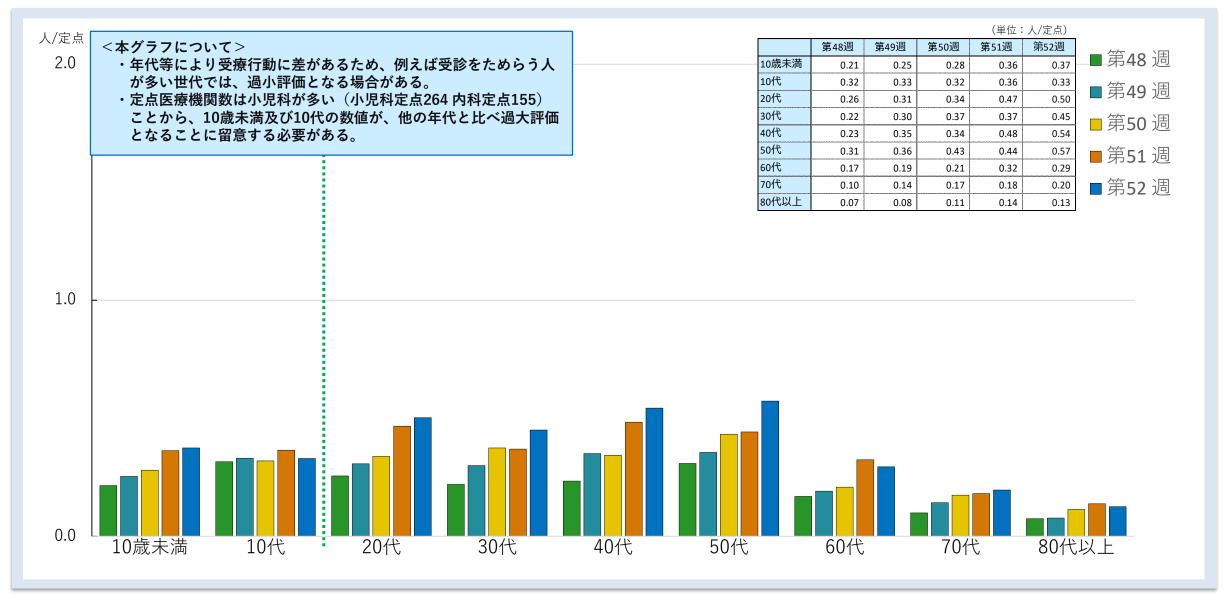
①-1 定点医療機関当たり患者報告数



①-2 60歳以上の定点医療機関当たり患者報告数

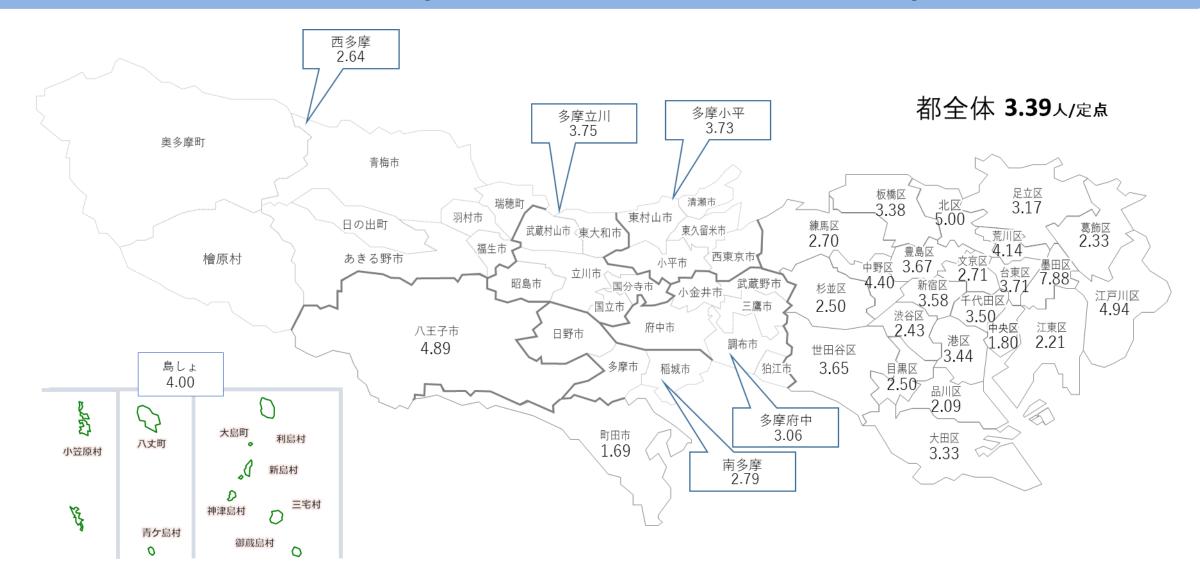


①-3 定点医療機関当たり年代別患者報告数

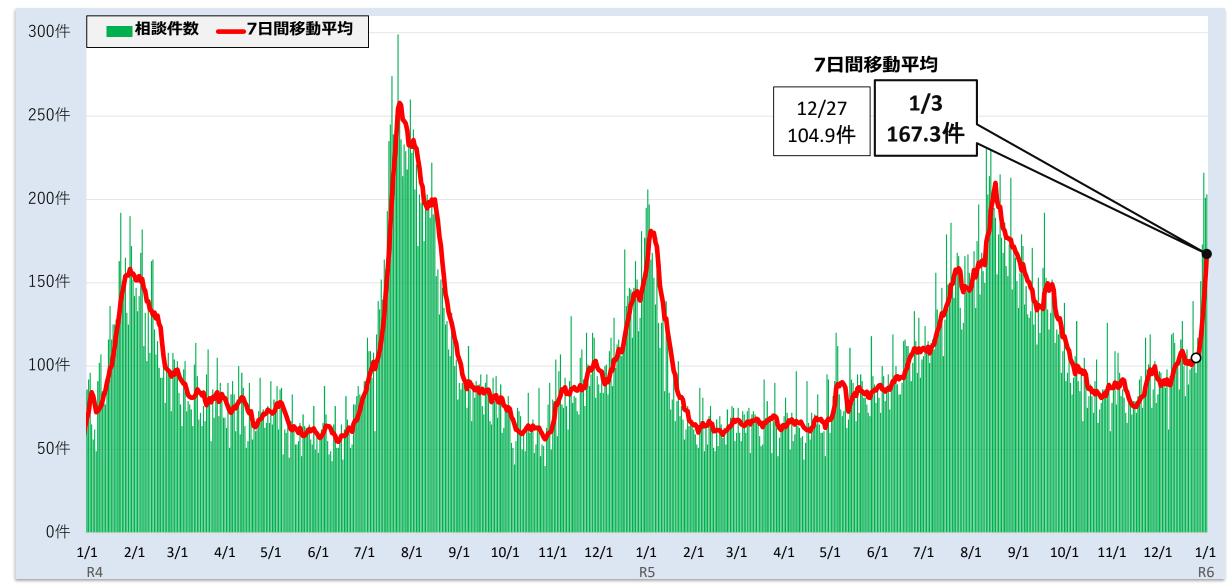


- (注1) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある
- (注2) 年代別の定点当たり報告数は小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計しても、必ずしも総数とは一致しない

①-4 定点医療機関当たり患者報告数(保健所区域別、第52週(12/25~12/31))

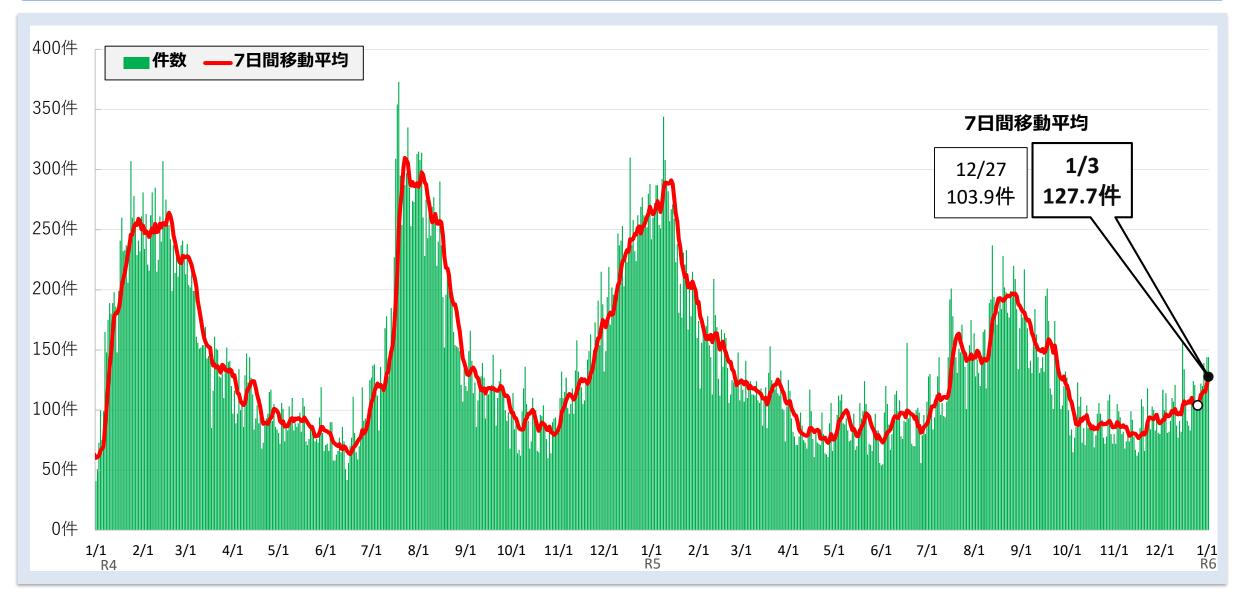


② #7119における発熱等相談件数



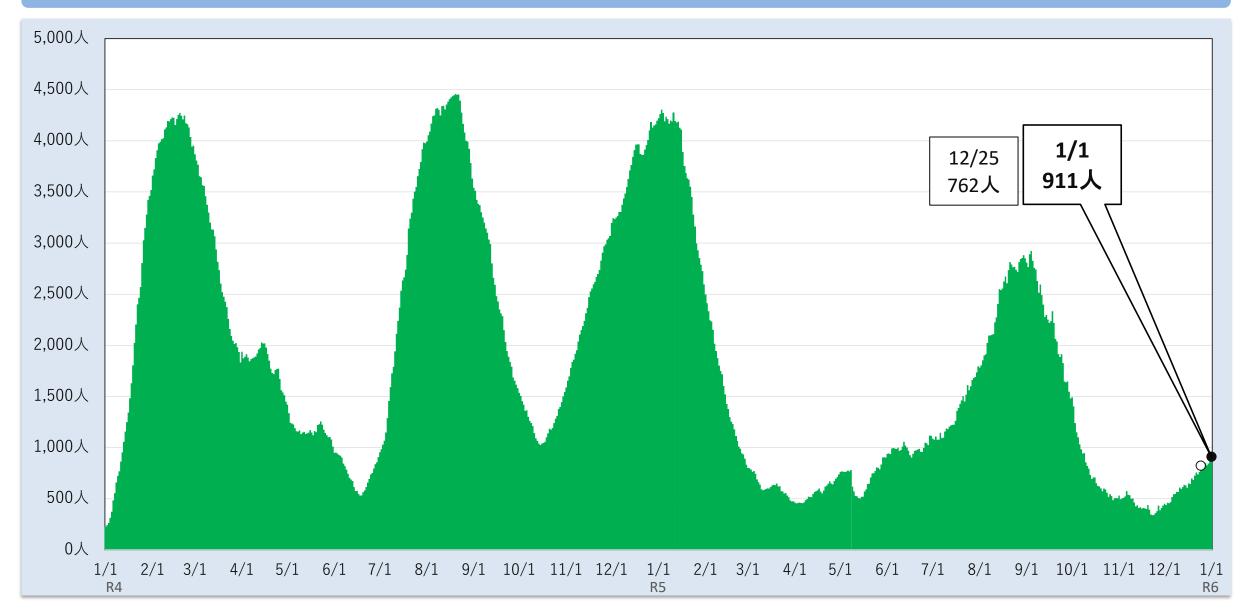
(注)曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、 過去7日間の移動平均値を相談件数として算出

③ 救急医療の東京ルールの適用件数



(注)曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、 過去7日間の移動平均値を適用件数として算出

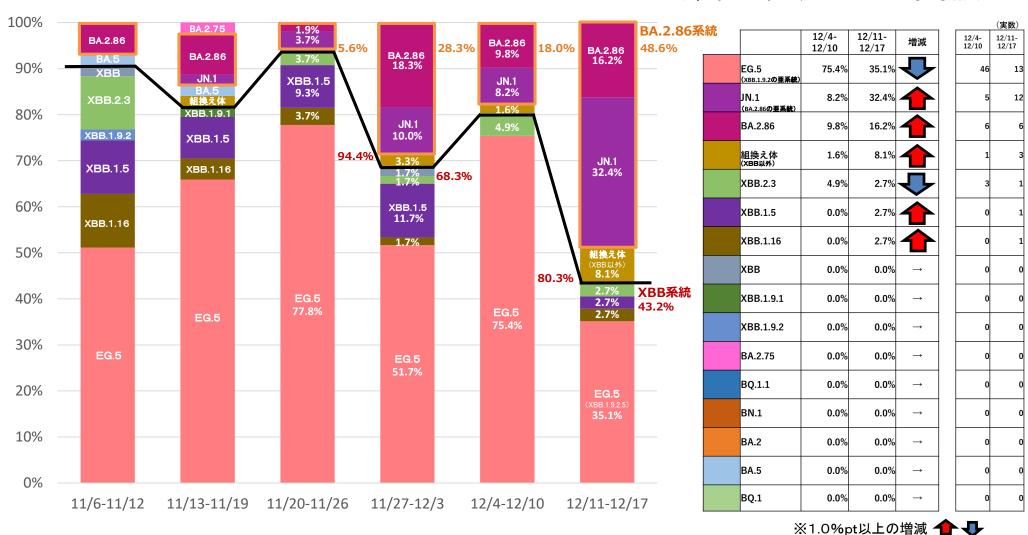
4 入院患者数



⑤ 病原体サーベイランス (ゲノム解析)

(令和6年1月9日12時時点)

0.5%pt以上の増減 🥭 🕎



[※] 都内検体の、過去6週に報告を受けた、ゲノム解析の実績(速報)

[※] 追加の報告により、更新する可能性あり

[※] BA.2、BA.2.12.1、BA.2.75、BA.2.86、BN.1はそれぞれ別々に計上。BA.4とBA.4.6は別々に計上。BA.5、BF.7、BQ.1、BQ.1.1はそれぞれ別々に計上。XBB.1.5、XBB.1.9.1、XBB.1.9.2、EG.5、XBB.1.16、XBB.2.3はそれぞれ別々に計上(XBBは左記以外のXBB系統)。(報告時点でのPango系統による)